

第55回 全日本聾教育研究大会
(島根大会)
開催要項



全日本聾教育研究会
J.A.E.R.D

全日本聾教育研究会
中国地区ろう教育研究会・四国地区聾教育研究会
全日本聾教育研究大会(島根大会)実行委員会

2021年 10月14日(木)～15日(金)

第55回 全日本聾教育研究大会（島根大会）開催要項

- 1 大会名称 第55回全日本聾教育研究大会（島根大会）
- 2 大会主題 子どもたちが自分らしく主体的に生きる姿を目指して
【主題設定の理由】
今日の社会は、グローバル化、情報化、技術革新など、急速なスピードで、実に多様に変化してきている。特別支援学校（聴覚障がい）・聾学校においても、人工内耳装用児や聴覚障がいと発達障がいを併せ有する子どもの増加など、幼児・児童・生徒の実態や教育環境は大きく変化し、子どもたち一人一人の聞こえ方やコミュニケーションモードはもちろんのこと、教育的ニーズも多様である。その一方で合理的配慮や手話言語条例等、自らを積極的にアピールし主体的に社会に働きかけていく流れも生まれてきている。今後も、更なる変化が起これ、新たなニーズが生まれていくことが予想される。どのように社会が変化しても、子どもたちには、「生きる力」を身につけ、自分の人生を自ら切り開き、社会をつくる主人公として歩いてほしいという従前より大切にしていた我々の願いが、より一層求められていると考える。
多様な文化、価値観をもった人たちと共に生きていくということは、ただ単に場を共にするだけではなく、それぞれが確固たる個性として自分らしさを持ち、互いに尊重することで初めて協働が生まれ、様々なことを生み出していくことができる。それが目指すべき共生社会であると考えます。
子どもたちには、愛情と信頼に基づいた大人との関係を基盤に、他者との関わりを広げながら考え、判断するなかで自己有用感や自己肯定感をもち、自分らしさを十分発揮してほしい。同時に、相手を尊重し、自らを主張したり他者と折り合いをつけたりしながら、新しい考えや方法を生み出し共に生きることに喜びを見出す人になってほしい。その実現に向かって、私たちは今関わっている子どもたち一人一人の姿から日々学び、地道に謙虚に、その方法を探っていくことが大切だと考えている。
本大会では、参加者の皆様と共に、自分らしさを発揮して、様々な活動に生き生きと取り組む子どもたちを育てる聴覚障がい児教育を追求したい、という思いを込めて、本主題を設定した。
- 3 会 期 令和3年（2021年）10月14日（木）・15日（金）
- 4 情報発信場所 <指定授業・記念講演・授業研究分科会>
島根県立松江ろう学校
〒690-0121 島根県松江市古志町191-6
- 5 参加会場 会員の在勤公署
- 6 主 催 全日本聾教育研究会、中国地区ろう教育研究会、四国地区聾教育研究会
- 7 主管校 島根県立松江ろう学校
- 8 協力校 島根県立浜田ろう学校 鳥取県立鳥取聾学校 鳥取県立鳥取聾学校ひまわり分校
岡山県立岡山聾学校 広島県立広島南特別支援学校 広島県立呉南特別支援学校
広島県立尾道特別支援学校 山口県立山口南総合支援学校
徳島県立徳島聴覚支援学校 香川県立聾学校 愛媛県立松山聾学校
愛媛県立宇和特別支援学校 高知県立高知ろう学校
- 9 協賛（予定） 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会、小川再治研究協賛会
- 10 後援（予定） 文部科学省、島根県教育委員会、松江市教育委員会、全国聾学校長会
全国聾学校教頭会、全国特別支援学校長会、中国地区聾学校長会
四国地区聾学校長会、中国・四国地区ろう学校教頭会、島根県特別支援学校長会
全国ろう学校PTA連合会、中国・四国ろう学校PTA連合会
全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会

11 大会日程 (ライブ配信日時及びオンデマンド配信期間等)

(1) 指定授業及び島根県立松江ろう学校寄宿舎研究発表 【オンデマンド配信】

	期 間	配信・事前質問の送付先
配信期間	9月13日(月)から10月13日(水)	第55回全日本聾教育研究大会 (島根大会) ホームページ (https://www.zennichiro.jp/) (以下「大会 HP」または「大会ホームページ」という)
事前質問の受付	9月13日(月)から9月30日(木)	

※以下記載の、【オンデマンド配信】等は大会 HP にて配信、掲載をします。

(2) 研究紀要(島根県立松江ろう学校の研究まとめ) 【大会 HP 掲載】

研究紀要の大会 HP 掲載期間	9月13日(月)から10月29日(金)
-----------------	---------------------

(3) 授業研究分科会 【ライブ配信】

	日 程 (ライブ配信時間)	
第1日 10/14(木)	15:00~16:40	授業研究分科会 <u>小学部</u> 及び <u>高等部</u>
第2日 10/15(金)	10:00~12:00	授業研究分科会 寄宿舎
	15:00~16:40	授業研究分科会 <u>幼稚部</u> 及び <u>中学部</u>

※大会通信第1号と各学部の日程を変更しています。

(4) 記念講演 【オンデマンド配信】

配信期間	10月14日(木)から10月29日(金)
講師	庄司 和史氏 (信州大学教授)
演題	これからの聴覚障がい教育 - 「育てる」から「育つ」を支える教育へ-

(5) 研究発表(研究協議分科会の原稿発表) 【発表原稿を大会 HP 掲載】

+ 【(希望者のみ) 発表者作成の発表動画をオンデマンド配信】

発表原稿の大会 HP 掲載期間 及び(希望者の)発表動画配信期間	9月28日(火)から10月29日(金)
-------------------------------------	---------------------

(6) 各種挨拶 【大会 HP 掲載】

挨拶、祝辞の大会 HP 掲載期間	9月1日（水）から10月29日（金）
------------------	--------------------

12 授業研究分科会 【ライブ配信】

(1) 研究テーマ及び助言者

分科会	研究テーマ	助言者	期日
1 幼稚部	みて、きいて、考えて、表現する力を育む ～人やものとの関わりを通して～	元筑波大学教授 公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会 専務理事 松本 末男 氏	10/15 午後
2 小学部	思考力・判断力・表現力を育てるための指導の工夫 ～思考ツールを活用した授業づくりを通して～	東京学芸大学 教授 澤 隆史 氏	10/14 午後
3 中学部	思考力・判断力・表現力を育てるための授業づくり ～生徒の重点目標達成に向けた実践をふり返り、 次の授業へつなげる取組～	筑波技術大学 教授 長南 浩人 氏	10/15 午後
4 高等部	思考力・判断力・表現力を育てるための授業づくり ～手立てや支援の検討を重ね次の授業につなげる 取組～	金沢大学 教授 武居 渡 氏	10/14 午後
5 寄宿舎	舎生が安心して自己表現できる寄宿舎をめざして ～エピソード記述を用いて舎生の内面を見つめる～	島根大学 教授 原 広治 氏	10/15 午前

(2) 内容

	分科会	内容
授業研究分科会	幼稚部 小学部 中学部 高等部	①学部研究について説明 ②指定授業について授業者の振り返り ③事前の質問意見に対する回答 ④指導助言者による授業への指導助言 ⑤指導助言者による研究内容についての指導助言
	寄宿舎	①松江ろう学校研究発表（概要） <詳細はHP上で事前公開> ②事前の質問意見に対する発表者の回答 ③指導助言者による研究内容についての指導助言 ④情報交換

※寄宿舎分科会の情報交換にあたっては、事前にアンケート実施を予定しています。
別途メールで依頼する予定です。ご協力をお願いします。

(3) 参加方法

①指定授業は事前に収録した動画を11(1)に記載の期間、大会ホームページでオンデマンド配信しますので、事前に視聴し、授業研究に関する質問意見を大会事務局にメールで送信ください。お寄せいただいた質問意見は、授業研究協議会で回答します。

なお、時間の都合上、取り上げることができない質問があることについて、あらかじめご了承ください。

②授業研究分科会は、Web会議システム(Zoom)を使用して行います。各団体で事前にアプリのインストールを行うなど事前準備をお願いいたします。

なお、Zoomを使用できない団体への参加方法は、大会通信第3号でお知らせします。

③在勤公署内で同時に多くのPCやタブレットを接続された場合、うまく受信できないことが想定されます。在勤公署内で密にならない程度に台数を制限してください。

④Zoomの接続練習を8月16日(月)～8月27日(金)の期間に設定します。詳細な日程、方法については、大会通信第3号でお知らせします。

13 研究発表(研究協議分科会の原稿発表)【発表原稿を大会HP掲載】

+【(希望者のみ)発表者作成の発表動画をオンデマンド配信】

(1) 各分科会の主題、助言者等

通常開催で予定していた9つの研究協議分科会は、Web開催への変更により、次の9つのテーマに基づく大会ホームページでの研究発表とします。

なお、各発表に対しての助言者からのコメントも掲載します。

分科会		主題(分科会テーマ)	助言者
		主題設定の理由	
1	早期教育Ⅰ	乳幼児の健やかな発達や保護者の主体的な子育てを目指す支援の在り方	信州大学 教授 庄司 和史 氏
		乳幼児が健やかに成長するための基盤である親子関係が早期に確立し、保護者が主体的に子育てに向かえるよう、早期教育の現場ではどのような支援ができるのかについて研究する。	
2	早期教育Ⅱ	心と言葉を育むための保育実践の工夫	元筑波大学教授 公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会 専務理事 松本 末男 氏
		幼児は豊かな生活の中で、身近な人との信頼関係を基にコミュニケーションの楽しさを知る。そうした豊かな心と言葉を育むための環境づくりと言葉の指導について研究する。	
3	教科指導Ⅰ (小学部)	基礎的・基本的な学力と豊かな思考力を育てるための実践の工夫	東京学芸大学 教授 澤 隆史 氏
		小学部段階で重要な基礎的・基本的な学力の定着を図りながら、児童の思考の幅を広げたり思考を深めたりするための指導方法の工夫について研究する。	
4	教科指導Ⅱ (中・高)	言語力や思考力に応じ、一人一人の学びを深めるための実践の工夫	筑波技術大学 教授 長南 浩人 氏
		小学部までに身につけた言語力や思考力の実態に応じ、より高度で抽象化した学習の中で一人一人の学びを深めるための指導方法の工夫について研究する。	

5	寄宿舎教育	寄宿舎教育における生きる力と豊かな心を育むための工夫	島根大学 教授 原 広治 氏
		異年齢集団での自立した生活の中で、社会性や豊かな人間性を育むための場となる寄宿舎での指導や支援の工夫について研究する。	
6	自立活動Ⅰ (聴覚活用、発音・発語、言語指導)	補聴機器や補聴援助システム等を活用した聴覚学習、発音・発語学習の在り方	愛媛大学 教授 立入 哉 氏
		個々の聞こえの状態に応じて様々な補聴機器や補聴援助システム等を有効に活用し、保有する聴覚を最大限に生かすための聴覚学習の指導内容や指導方法について研究する。	
7	自立活動Ⅱ (コミュニケーション、障がい認識、キャリア形成)	自立と社会参加に向けた段階的、系統的な支援の在り方	金沢大学 教授 武居 渡 氏
		卒業後の自立と社会参加に向け、個々の実態や発達段階に応じた段階的、系統的な指導内容や指導方法について研究する。	
8	センター的機能	特別支援学校（聴覚障がい）のセンター的機能の在り方	島根大学 教授 野崎 明彦 氏
		特別支援学校（聴覚障がい）に求められるセンター的役割は多様化している。全ての聴覚障がい児がよりよい支援を受けられるように、特別支援学校（聴覚障がい）の果たすべき役割と地域や関係諸機関との連携の在り方について研究する。	
9	重複障がい教育 (発達障がいを含む)	一人一人の発達段階や教育的ニーズに応じた支援の在り方	広島国際大学 教授 國末 和也 氏
		特別支援学校（聴覚障がい）においては、障がいの重複化や多様化が進み、医療的ケアや聴覚情報処理障がいのような新たなアプローチを必要とする子どもたちも出てきている。このように多様化するニーズに応じたきめ細かな支援の在り方について研究する。	

(2) 研究発表の資格は、会員であることとします。

なお、地区研究会に所属していない大学教員等は、本部事務局が対応、掌握の上、会員資格を得てください。

連絡先	全日本聾教育研究大会本部事務局 TEL 047(371)4135(代表) FAX 047(372)6908	〒272-8560 千葉県市川市国府台2-2-1 筑波大学附属聴覚特別支援学校内
-----	---	--

(3) 研究発表原稿は、**PDF形式のデータ**で提出してください。大会ホームページよりアップロードして提出していただきます。原稿様式および作成例は、大会ホームページよりダウンロードできます。

(4) 詳細は、別紙「研究発表募集要項」をお読みください。「様式」及び「作成例」は、大会ホームページよりダウンロードできます。

なお、原稿執筆要項に合わない原稿については、修正の上、再提出をお願いすることがあります。

(5) 希望される場合には、発表者は(3)の原稿に加えて、ご自身で作成したレポート発表用動画(15分以内)を大会ホームページに掲載できます。

動画の掲載を希望される発表者は、(5)で作成した動画を8月20日(金)までに大会ホームページから提出してください。その際、抄録(315字以内)の提出もお願いします。

送付方法については別途お知らせいたします。

また、レポート動画作成の方法例も以下のURLに掲載してありますのでご覧ください。

https://youtu.be/rAQVQkZ_agY

(6) 感染症拡大防止のための休校措置等を図る中で取り組まれている、ICTを活用した学習保障方法など、今だからこそ必要な情報に関する報告もお待ちしています。

(7) 大会終了後、研究集録や記念講演は大会ホームページに10月29日(金)まで掲載するとともに、全日本聾教育研究会ホームページの会員メニューにも掲載する予定です。

14 大会参加費について

(1) 大会参加費用 会 員： 無料
 会員外： 1,200円
 学 生： 今大会はWeb大会のため学生の参加はご遠慮ください


(2) 会員外の方の納入方法

項 目	大会参加費
振込期間	令和3年7月13日(火)～8月13日(金) ※振込期間厳守でお願いします
振込先	ゆうちょ銀行 総合口座 口座名義：第55回全日本聾教育研究大会(島根大会)実行委員会 フリガナ： ダイゴジュウゴカイゼンニホンロウキョウイクケンキュウタイカイシマネタイカイジッコウイインカイ 記号：15310 番号：15781841 (他金融機関から振り込まれる場合) 店名：五三八 店番：538 預金種目：普通預金 口座番号：1578184
振り込む際の 注意事項	お振り込みの際には、お名前を入力に続けて必ず学校(機関)名も記載してください。 記載例) 島根花子(島根松江ろう)
手数料	振込手数料は、振込者側のご負担でお願いいたします。

(3) 領収書の発行について

領収証や必要な書類がある場合は、島根大会事務局までメールでご連絡ください。

15 大会参加の申込

申込内容	締切日	申込・送付先
① 大会参加申込み 研究発表申込み	2021年6月30日(水)	全日聾研（島根大会）事務局 （島根県立松江ろう学校） ※大会ホームページから申込み・提出 をしていただきます。 (https://www.zennichiro.jp/) 
② 研究発表原稿提出	2021年7月20日(火)	
③（希望者のみ） 研究発表動画提出	2021年8月20日(金)	

16 大会ホームページに掲載する動画の取り扱いに関するお願い

- (1) 事前事後にかかわらず大会ホームページで公開されている動画は、必ず在勤公署で視聴してください。
- (2) 参加者には、動画を視聴するためのパスワードを後日メール送付しますが、関係者以外に他言しないでください。
- (3) 視聴用動画をお手持ちのカメラや携帯で撮影したり、動画をスクリーンショットなどで記録したりしないでください。動画の内容をSNS等へ書き込むことも絶対にしないでください。
- (4) 幼児児童生徒の個人情報が含まれる動画が多数あります。研究実践という目的であることと、その場で見るということで保護者様から承諾をいただいています。Web大会における情報の流失等が起きないように、参加者の皆様もモラルとマナーを守っていただきますよう重ねてお願いいたします。

17 自然災害発生時における対応

- (1) 公共交通機関に影響がある等により主管校の教職員が出勤できない場合は、授業研究分科会のライブ配信を中止とし、その旨を大会ホームページに掲載します。
- (2) 分科会中止の場合は、後日大会ホームページに分科会への質疑応答や助言者の指導講評等を掲載します。
- (3) 公共交通機関等運営に影響がない場合は、原則として予定通りの時刻で分科会を開催します。

18 諸連絡

- (1) 今大会はWeb開催のため、大会通信を通常開催の大会より多く発行し、参加方法や視聴方法など随時お知らせします。大会通信第3号は、7月発行予定です。
- (2) 大会参加の申し込みに併せて、在勤公署のICT環境についての調査を行います。大会ホームページでの申し込みの際に、調査への回答もお願いします。
この調査は、授業研究分科会においてZoomを使用できない団体への参加方法を検討する上で、重要な情報です。お手数おかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

19 大会事務局及び連絡先

第55回全日本聾教育研究大会（島根大会）事務局

〒690-0121 島根県松江市古志町191-6
（島根県立松江ろう学校内）

TEL (0852) 36-7222 FAX (0852) 36-7223

大会実行委員会：校長 福島 朗博 大会事務局長：教諭 安部 泰尊

全日本聾教育研究大会（島根大会）事務局メールアドレス

shimane@zennichiro.jp